

未来農業のフロンティア育成研修

8月研修予定

20230731 農業試験場

月日	時間	研修内容等	対象	講師・助言者等	会場等
8月1日(火)	9:30~16:00	農業基礎⑤	1年目生	農業研修センター	研修室
8月18日(金)	9:00~15:00	参観デー 「技術セミナー」	1年目生 2年目生	農業試験場	講堂、圃場ほか
8月19日(土)	9:00~15:00	参観デー 「技術セミナー」	1年目生 2年目生	農業試験場	講堂、圃場ほか
8月22日(火)	9:30~16:00	農業基礎⑥	1年目生	農業研修センター	研修室
8月23日(水)	10:00~15:00	養成研修⑧ 「営農計画③」	1年目生	農業研修センター	研修室
8月30日(水)	10:00~15:00	養成研修⑨ 「営農計画④」	1年目生	農業研修センター	研修室
8月31日(木)	10:00~15:00	養成研修⑩ 「先進的農業」	2年目生	先進農家、農業研修センター	講堂

研修内容等○は、R5年4月からの講座回数

7月の研修状況

座学






作物







野菜







花き






■ 7月は次の講義を受講しました。

- ・養成研修2年目生「営農計画」(①)
- ・農業基礎講座1年目「農業簿記」(②)
- ・農業経営者研修「スマート農業」(③)
- ・農業経営者研修「GAP」(④)
- ・養成研修1年目「施肥」(⑤)、「支援」(⑥)
- ・専門座学「秋田県の水田土壌の特徴と転換畑に向けた土づくり」(⑦)、「秋田で生まれた野菜・花の新品種」(⑧)









中間報告会(7月25日)



企画経営室長挨拶



2年目生の自宅プロジェクト・現地研修の報告

横井上席の激励



1年目生の研修報告

2年目生の場内プロジェクト圃場看板

要素成分が高くなる基礎肥型肥料を施肥した際の速い生育収量を比較する

プロジェクトの目的

- 要素成分が高くなる基礎肥型肥料で生育・収量に及ぼす影響を全比較する。
- 2種類の肥料のコストを比較する。

※これまでの結果、伸とり区に比べて早くモク区・X区の生育が少し遅れていると思われる。

圃場概要

- 伸とり試験区 3.6m × 5.4m 5.0kgN/10a
- 基礎肥モク区 1.8m × 5.4m 5.0kgN/10a
- 基礎肥モクX区 3.6m × 5.4m 5.0kgN/10a

2024年4月27日 播種 4月27日 代かき 5月30日 移植 6月1日 収穫 施肥 4.2kg/株 16.6kg/㎡

圃場配置 (実施場所: 秋田農業試験場 DS区)

プロジェクトの目的

- 本学の秋冬どりの栽培の知識と技術の修得
- 高濃度の特性や生育速度の違いを把握し、収穫後の作付計画作成に繋げる

試験区(比較品種)

- 「夏陽(パワー)(サカタのタネ)
- 「大河の真珠(トキタ種苗)
- 「漢南一本太(トキタ種苗)
- 「冬月一文字(タキイ種苗)

主な作業期

- 5月5日 定植
- 6月27日 圃場込み1回目
- 7月7日 生育調査
- 7月20日頃 圃場込み2回目予定

調査結果

- 伸取の速さは「大河」>「パワー」>「漢南」>「冬月」
- 生育期の長さも伸取の速さと同様の傾向が確認された。
- 伸取開始30日目の時点で「漢南」一本太が「漢南」より生育が早く、「大河」の真珠より真珠が短い
- 今後の予定
 - 10月上旬収穫開始に向けて引き続き除草・土寄せを継続
 - 実測から6月30日、80日目に生育調査
 - 10月上旬から収穫調査(11月下旬まで5回程度を予定)

野菜コース 東海林 健太 指導員 横井 真人 上席研究員

秋冬どりの栽培技術の習得

プロジェクトの背景と目的

- 4月10日チューンポット栽培で収穫
- 1畝10m、畝間約1m
- パワフルネーブル500g一畝施肥
- 高濃度 収量基準まで25kg/10a
- 10月上旬から収穫予定

圃場概要

- 伸取日 4月12日 (2粒/7穴)
- 実用ポット CP3 03 (2.64穴)
- 定植日 6月1日
- 栽培方式 畝間100cm、株間5cm
- 施肥量(kg/10a)
- パワフルネーブル(基肥+追肥) = 20 : 7.2 : 7.2

野菜コース 東海 龍典 指導員 横井 真人 上席研究員

大玉トマトの栽培技術習得と低段密植栽培技術の検討

プロジェクトの背景と目的

- 【背景(栽培時の課題)】
 - 就農予定の農地が大きくなり、通常の作型で行うための労力や技術不足を懸念
 - 密植栽培を活かすことで収穫確保と省力化が可能?
 - 【目的(実際の調査開始に際して)】
 - 大玉トマト栽培の基本技術習得
 - 低段密植栽培技術の習得、収穫や作業性を検討

圃場概要

- 試験品種 「鉄太郎ワンダー」
- 調査項目 収量、果実品質、糖度、作業性(作業時間)

現在までの実施状況・調査結果

- 定植 5月8日、収穫開始 6月21日
- 密植区は定植時から生育速度で確認が良かった
- 0果実品質に大きな差はないが、密植区では糖度が多い印象

野菜コース 藤原 歩 指導員 田中 研二 上席研究員

小菊栽培における防蚊灯導入の検討

プロジェクトの背景と目的

- 防蚊灯による防蚊効果と、小菊の生育および開花への影響、薬剤使用量を削減し持続可能な防蚊対策の実現を目指す

圃場概要

- 試験品種 「紅天下」、「このみ」、「小菊」
- 生育調査 開花日、高さ
- 開花日調査表: 切り花長、調整量、開花

現在までの実施状況・調査結果

現在データ調査中!!

野菜コース 藤原 歩 指導員 田中 研二 上席研究員

ミニトマトの栽培技術の習得

プロジェクトの背景と目的

- 【課題設定の背景】
 - 冬野菜として、本県産でメインで水耕もしつつミニトマトの栽培したいと考えている。ミニトマトの栽培知識の不足により、課題に気づいた。
 - 【目的】
 - 農業開始に向けた、ミニトマトの栽培技術の習得

圃場概要

- 試験品種 「サンシャインベアプラス」、「サマー千果」
- 調査項目 開花日、収穫、果実品質、糖度

現在までの実施状況・調査結果

- 定植 5月8日
- 収穫開始 ビュア区 6月19日、千果区 6月23日
- 0各品種の果形、一果重、樹勢の違いがある

野菜コース 浮田 希 指導員 田中 研二 上席研究員

大玉トマトの栽培技術習得と低段密植栽培技術の検討

プロジェクトの背景と目的

- 【背景(栽培時の課題)】
 - 就農予定の農地が大きくなり、通常の作型で行うための労力や技術不足を懸念
 - 密植栽培を活かすことで収穫確保と省力化が可能?
 - 【目的(実際の調査開始に際して)】
 - 大玉トマト栽培の基本技術習得
 - 低段密植栽培技術の習得、収穫や作業性を検討

圃場概要

- 試験品種 「鉄太郎ワンダー」
- 調査項目 収量、果実品質、糖度、作業性(作業時間)

現在までの実施状況・調査結果

- 定植 5月8日、収穫開始 6月21日
- 密植区は定植時から生育速度で確認が良かった
- 0果実品質に大きな差はないが、密植区では糖度が多い印象

野菜コース 藤原 歩 指導員 田中 研二 上席研究員



2年目生の場内プロジェクトの圃場説明

